六月のおたより

それほど寒くなかった今年の冬。やがて、花の季節として新緑の季節なんて思っていたらもう六月　ことしも半分来ちゃった。早いね。

これから過酷な夏が来ますよ。今年も？　ご用心。準備はいいですか。

懲りずに蕎麦のお話

「降松さんは、以前は岩国にあったと聞く。確かではないけど。

一度行ってみたいと思っていたら、下松に引っ越してきたという経緯。だから、岩国方面の店にはまだ行ったことがない。そこで、今回は岩国方面を探す。きっと人気の店があるはずだ。蕎麦屋の触手がピッピッ。ネットを検索する。

「あった！」「ここはどうかな」と言うことで、「**蕎麦遊**さん。

今月行こうと思っていたけど都合で来月行くことにしました。

蕎麦屋の格言　「**蕎麦屋は逃げる**」

人間観察

いまはまっている**柚木温泉**　良い温泉です。じっくり浸かれば疲れがとれます。今日は、定休日　「温泉に行こう！」　出発！

すでにひとり入っていました。大柄なひと。ここの温泉は、温度も低いし、ゆっくり浸かるのが良いのです。ところが、この人ときたら、まぁせわしいこと。浴槽につかりせわしく動きます。数分で洗い場にあがり、お湯をかぶりまた湯船に。小さな浴槽です波立って船酔いしそう。落ち着きのない子を八月子などと言いますが、このひともそうだろうか。「早くあがれよ」とんな気持ちです。

よーい　ドン！

四国　香川の話です。うどん県で知られていますよね。

ある小学校で、運動会の練習していました。徒競走です。子供たちが並びスタートの準備　なんと！先生が「**よーい　うどん**」だって。

おすすめの蕎麦屋さん

5月の連休に長門市の蕎麦屋さんを訪ねましたが、あいにく休業でした。そこで再度訪ねることに。

東深川にある「そば処　なかむら」です。普通の住宅の一部を改築したお店です。外は何となく散らかった感じ。「美味しい蕎麦は期待できないな」と思いきや、中は、一〇席ほどの落ち着いた感じのとして小綺麗なお店でした。棚に小さなスピーカーが置かれ、クラッシクが流れていました。「ここいいね」

早めに行ったので、客はわたしひとりでした。ご主人が、一人で切り盛りされているとか。見るからにいいひとといった感じで、丁寧な応対でした。「**蕎麦屋おすすめ！**」のランプが点灯！ピコピコーンです。

田舎そばを注文しました。山芋を絡めて食べるのです。出汁は辛すぎず良い感じ。細目に切られた蕎麦です。微妙に太さが違い、いかにも手打ちそば。これが良いのです。

「講釈はいいから、どんな味？」でしょう。「はい　見た目通り美味い！」です。のど越しの良い蕎麦でした。時間はまだお昼前。お客さんが次々と入って来ます。やはり人気店なのだ。この味です。納得です！

長門市は、**ところの里　伊織**としてなかむら　いいお店があるね。また来よう。

宇部の蕎麦屋さん

以前、情報誌で紹介されていた宇部市の蕎麦屋さんに行ったことがあります。宇部市にある店です。ところがなんと機械打ちの麺だったのです。もう、がっかり。

でもこの町にもきっとうまい蕎麦屋さんはある。見つけました。「**武蔵野**さん　さっそく定休日に訪ねることに。中央町　宇部興産の近くにあります。**銀天街**　かつては隆盛を誇っていた商店街も今では人通りもなく寂しいかぎり。その外れにひっそりとありました。老夫婦で切り盛りされています。注文を聞いてから、ご主人が麺を切ります。こりゃあ絶対手打ちだね。カウンター越しに調理場が見えます。麺を茹で始めました。けっこう長い時間茹でています。「大丈夫かな」

出来ました。やはりちょっと茹ですぎかな。でもこれが、この店の流儀。何十年もやられているのだから、これでいいのです。お世辞にも綺麗な店とは言えませんが、なんとも味のあるお店でした。

あと一軒！

振り返れば、県内の蕎麦屋さんをあちらこちらと尋ねてきました。県内の人気のお店は、大体訪問したと思います。ついでに福岡市周辺の人気店も。来月予定している岩国のお店「**蕎麦遊**さんで達成ということにします。でもまだあるかも。蕎麦屋の挑戦は続く。なんてね。

竪小路　蕎麦屋